



あみだすず 阿弥陀清水

山形市大字土坂



〔管理者・保全団体〕土坂町内会

ポイント

山形市の東方、県庁から西蔵王高原ラインを蔵王に向かう途中、土坂公民館の脇、柵に囲まれた奥にある。傍らに祀られた阿弥陀仏から「阿弥陀清水」と呼ばれている。昭和61年に県道が整備された際に県道の下となり、このような形で保存されることになったが奥まった暗がりでは、整然と並ぶ玉砂利敷きの隙間からこんこんと水が湧き出ている。下流の堰には、梅花藻が繁茂し、初夏から晩秋にかけて水中に白い可憐な花を咲かせる。

昔、瀧山詣が盛んな頃（かつてこの地が「草利敷村」という名前の村だった頃）から、ここを通る旅人が、この清水でのどを潤し一休みしたといわれる。現在も多くの人がこの水を求めて訪れる。



アクセス

 (北緯38.207056°、東経140.369167°)

国道286号線から県道167号線（西蔵王高原ライン）へ入り、蔵王温泉方面に約10分、7kmほど進む。土坂公民館前バス停が見えたら、T字路を右折すると、すぐ右手に土坂公民館があり、湧水は土坂公民館の奥にある。公民館前に駐車は可能である。

